

IV—12 岩手山の北上川の流軸景における眺望の確保について

岩手大学工学部 正会員 安藤 昭
岩手大学工学部 正会員 赤谷 隆一
岩手大学工学部 学生員 ○千葉 満也

1、はじめに

北上川に架かる橋から見える景観は、盛岡市のランドマークである岩手山を川通しの借景として見ることできる希少な景観であり、盛岡の代表的な景観の一つになっている。当研究室のイメージ調査によっても北上川の流軸景における岩手山の景観は、高い再生率を示している。¹⁾ また、北上川の流軸景への借景としての影響だけでなく、開運橋からみた岩手山は、河岸に立ち並ぶビルを伴ったヴィスタ景への調和、対比も期待され、希有の景観を生み出そうとしている。

そこで、本研究では、北上川の流軸景における借景としての岩手山の眺望の確保についてモニタージュ写真によって景観解析を行ない、さらにヴィスタ景の場合の岩手山の眺望の確保の程度やビルディングの位置や高さを明らかにすることを目的とした。

2、解析方法

2-1、視点場の選定

実験対象となる視点場としての橋を選定するために、本研究では当研究室で行なわれたイメージ調査にこれを求めた。その調査結果によると、開運橋からの景色が最も高い率で再生された。¹⁾ したがって、本研究での視点場としての橋は、開運橋を選定した。

2-2、視点場の位置の決定の実験

橋上の視点場の位置によっても、見える風景はかなり違っているものである。そこで、開運橋からの視点場の位置を一对比較法により選定した。実験は、開運橋上を端から端まで5m間隔に18の視点場を設定し、それぞれの位置から川通しの岩手山を写真撮影しものを、全部の組合せについてスライドで一对呈示し、「より美しくみえる風景はどちらか」を比較判断させた。スライド実験では、実際に被験者が開運橋から岩手山を眺めるときと同じ条件にするために、岩手山への仰角を実際の見えと同じ角度になるように映写した。実験は岩手大学の講義室で行なわれた。被験者は岩手大学の男女学生64人（男32人、女32人）である。

2-3、前景のビルの許容限界高さの決定の実験

岩手山の前景のビルの許容限界の高さを決定するための実験として、一つのビルに注目し、マクロな視点からビルの許容限界の高さを決定するための順位法（第一選択法）と、その決定した高さの視認誤差を求めるための調整法の実験を行なった。モニタージュ写真は、2-2の一对比較法で、美しい視点場として選ばれた場所を視点場として設定し、そこから撮影された写真にビルを、左岸側の場所では左右両端の二カ所、右岸側の場所では左右両端と中央の3カ所の合わせて5カ所について挿入したものを使用した。順位法では、ビルの高さを仰角30分毎に変化させた9枚のモニタージュ写真を同時に呈示し、その中で景観的に見て許容できるビルの高さのものを一枚だけ選べた。調整法では、順位法によって選ばれたものを標準刺激としてスライド映写し、比較刺激としてその隣にビルの高さを8mmによって連続的に変化させることのできる変化刺激を映写し、変化刺激の高さを標準刺激の高さと一致させる実験を通して視認誤差を求めた。両実験とも岩手大学の講義室で行ない、被験者は順位法では一般市民男女106人（男53人、女53人）、調整法では岩手大学の男女学生10人である。

2-4、ヴィスタ景の景観解析の実験

ヴィスタ景の景観解析は、2-3と同様、順位法（第一選択法）により行なった。モニタージュ写真は、2-1の実験で一位になった視点場からの風景に対し、まず2-3の実験で得られたビルの許容限界高さの値を基準にして仮想のビル群を左右両岸に挿入し、ヴィスタ景となるようにビル群の高さを設定したモニタージュ写真を基礎に、ビルの高さ及びビル群間の距離を変化させたモニタージュ写真をそれぞれ同時に呈示し、ヴィスタ景として許容しえるビル群の高さ（鉛直視角）とビル群間距離（水平視角）を決定した。

3、実験結果及び考察

3-1、視点場の決定

一对比較法の実験に使用した写真を写真-1に、その実験結果である間隔尺度値を図-1に、また、写真番号

と間隔尺度値との関係を図-2に示す。実験結果によると左岸側(写真No.3)と右岸側(写真No.14)の2地点においてそれぞれ高い値を示す所が現われる。また、18地点の写真を比べると、前景による岩手山の遮蔽面積が評価に大きく影響しており、その値が大きい程低い値を示す。²⁾ 加えて、写真No. 3は、左側に出現するビルが樹木によって整序され、右側のビルとやわらかなヴィスタ景を作っており、そのため焦点の岩手山が美しく眺望できるので評価が高くなっていることがわかる。

尚、2-3の前景のビルの許容限界高さとは2-4のヴィスタ景の解析結果については講演時発表する。

- 参考文献 1) 安藤昭、赤谷隆一、高橋秀典：都市規模と都市イメージについての解析、東北支部研究発表会、1986
 2) 安藤昭：モンタージュ写真による岩手公園からのビルディングを伴う岩手山の景観解析、第35回年次学術講演会、1980

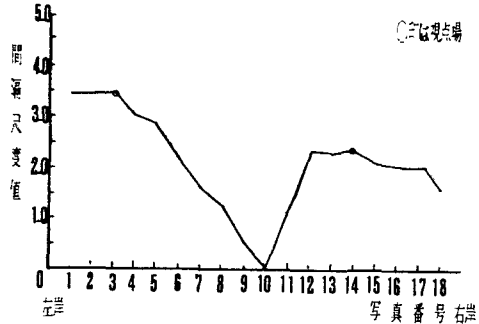
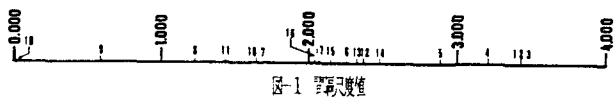


図-2 間隔尺度値と写真番号の関係



No. 1

No. 2



No. 3(観点場)



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



No. 8



No. 9



No. 10



No. 11



No. 12



No. 13



No. 14(観点場)



No. 15



No. 16



No. 17



No. 18

写真-1 一対比較に使用した写真